

## 編 集 後 記

今年度から計算機センター広報を復刊することになりました。

計算機センター広報は、昭和46年4月以降、毎年度1巻3号ずつ発行され、昭和50年12月にVol. 5, No. 2 (通算14号)を最後に休刊になっていたものです。休刊になった理由を当時のセンター長の小堀教授に伺いましたところ、主として、予算上の理由とのことでした。最近の計算機センターの予算はいくらか豊かになったようですし、それよりも、新しいシステムが導入され、ソフトもハードも日進月歩の時代で、広報の必要性も一層大きいと思われるときでもあり、センター長の武部教授の熱意に応じて、広報を復刊することが運営委員会で決定され、開店休業中の広報小委員会が始動することになりました。

実は、当初の編集方針としては、論稿を中心とした紀要のような性格のものを、事務的な広報とは別個に発行する考えもあり、名称をも含めて、慎重に検討されたのですが、結局、内容は紀要的性格を強めるが、形式的には前の計算機センター広報を復刊する形をとることになりました。

広報のバックナンバーをひもといて見ますと、ページ数こそ多くありませんが、熱のこもった論稿が多く、これを上まわる内容のものができるかどうか心配になったときもありましたが、広報小委員の皆様の努力のおかげで、御覧のような充実した内容のものになった次第です。

ところで広報の顔である表紙ですが、いくつかのアマ・プロのスケッチ案の中から、永い間のバリエーションの可能性などを勘案して、広報小委員会で選定したのですが、いかがでしょうか。

復刊後の発行予定としては、半年刊とし、その間にマニュアル特集号を別冊として発行できればと思います。したがって次号は9月発行、別冊は6月にT S S特集を考えています。次頁要領にて奮って御投稿をお願い申し上げます。

(Y. Y.)